



「ひこぜん祭り」が6年ぶりに復活
ゲストは三条市ふるさとPR大使見習いの関田 将人さん

かつて冬場のクマ狩りを行うマタギ（猟師）の携帯食だった「ひこぜん」をテーマとした「ひこぜん祭り」が、下田地域の5つの集落で構成する「牛野尾谷五ヶ会」によって6年ぶりに復活します。下田地域出身で「三条市ふるさとPR大使見習い」の関田 将人さんをゲストに迎え、多くの方に「ひこぜん」の味を体験いただき、郷土の食文化を未来へ伝える担い手の確保につなげます。

【本件のポイント】

- 「牛野尾谷五ヶ会」が、コロナ禍で途絶えていた「ひこぜん祭り」を6年ぶりに復活
- ゲストは、下田地域出身で三条市ふるさとPR大使見習いの関田 将人さん

【本件の概要】

- 1 と き 11月22日（土）午前11時～午後2時
- 2 と ころ 道の駅 漢学の里しただ
- 3 内 容
 - ・ひこぜん作りの実演、体験
 - ・ひこぜんの販売
 - ・オリジナルひこぜんレシピコンクール作品の展示 ほか
- 4 主 催 ひこぜん祭り実行委員会
- 5 後 援 新潟県三条地域振興局、三条市

■ひこぜん

冬場にクマやタヌキ狩りに出ているマタギの人々が携帯食として持ち歩いた三条市下田地域に伝わる料理。炊いたご飯をつぶしてわらじの形に整え、木のへうに刺して一度炭火で焼いた後、煎ってすりつぶしたエゴマに砂糖、酒、しょうゆ、みそをあえたものを表面に塗り、炭火で軽くあぶり直したものです。現在は作り手が少なくなっていますが、伝統食として大切に食べ継がれています。

■牛野尾谷五ヶ会

三条市下田地域の「遅場」「葎谷」「濁沢」「早水」「牛野尾」の5つの集落。集落の行事として受け継がれてきた「ひこぜん祭り」は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送っていましたが、この度復活するものです。

【問い合わせ】三条市経済部 営業戦略室 営業戦略係 丸山

電話：0256-34-5603